



ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

済生会だより

No.53 2020.新春号

年頭のごあいさつ

病院長 小林 智

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年の令和元年は、新年号に伴う、儀式、イベントが多く催され、また、ラグビーワールドカップでは日本がone teamで決勝リーグ進出を決め日本全体で大きく盛り上がった反面、千葉県では台風15号・19号などで、大変な風水害の被害を受けてしまいました。

被災者の方々には改めてお見舞い申し上げます。

令和2年はどんな年になるのでしょうか。オリンピック、パラリンピックで楽しい思い出のみの1年で終わって欲しいと願っています。

当院ではまず、先の台風被害を経験して、今までの災害マニュアルが地震対策が中心でありましたので、変更の検討を始めています。それにより、ある程度予想のつく災害時の対応を、災害が起こる前から、対策を講じることができます。

また、病院業務については今まで以上に患者さんの安全を第一に医療の質のアップに努力していくつもりですが、済生会の理念として、生活困窮者の方たちへの支援を院外に向けても行っていくために、行政、警察、消防、地域の方々のご協力をお願いして、ネットワークづくりに取り組み始めました。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



すべてのいのちの虹になりたい

Contents

- ・ 年頭のごあいさつ
- ・ 副院長から新年の抱負と診療科の紹介
- ・ 済生会フェア開催の報告
- ・ 台風15号に伴う災害派遣医療チーム(DMAT)の活動報告
- ・ 糖尿病講座のご案内

病院の理念

患者さんに寄り添う医療を通して、地域住民の健康と福祉の増進に寄与します

病院の基本方針

- ・ 患者さんの権利と意思を尊重し、ともに考え良質で効率的な医療の提供に努めます
- ・ 全ての職員はレベル向上のため研鑽し、最善のチーム医療を行います
- ・ 地域医療機関との連携を深めて、中核病院としての役割を果たします

患者さんの権利

- ・ 良質な医療を平等に受けることができます
- ・ 病状や治療内容について十分な説明を受ける事ができます
- ・ 自分の意思により治療を選択し決定することができます
- ・ 個人情報、プライバシーは保護されます
- ・ 自分の診療内容について開示を求めることができます

患者さんに守っていただくこと

- ・ ご自身の健康や病気に関する情報を正確にお伝えください
- ・ 診療に協力し自ら治療に積極的に参加する気持ちをお持ちください
- ・ 病院の規則を守っていただきます

副院長から新年の抱負と診療科の紹介

済生会習志野病院整形外科が2020年に向かうところ

原田 義忠 副院長

整形外科は、広い分野をカバーする運動器の機能再建外科であり、膝関節・股関節をはじめとする各部位の関節疾患と脊椎・脊髄疾患を網羅しています。さらに、骨折などの外傷から変形性関節症に代表される加齢に伴う変性疾患、脊髄・末梢神経に対する圧迫病変など疾病分類でも広い範囲をカバーする診療科です。従って、多くのスタッフが揃うことで、より充実した診療が可能となります。そういう意味では、当院の整形外科はまだまだ進歩している途中であると考えられます。これからも、多くの専門性の高い整形外科医を招聘して、すべての分野を網羅できる診療科を目指したいと考えています。そうすることで、地域医療に貢献するとともに、より質の高い医療を千葉県全体の患者さんにも提供していきたいと思っています。まず目指すところは、昨年以上の手術件数を達成すること、さらに学会活動にも力を入れて、整形外科学会をはじめ国内外の整形外科学会での発表を目指したいと考えております。当院整形外科のさらなる発展を期待していただきたいと思います。

脳神経内科紹介

上司 郁男 副院長

日本神経学会からの勧めがあり、2019年2月に診療科の標榜を「神経内科」から「脳神経内科」に変更しました。心療内科、精神神経科と間違われないようにすること、脳神経外科と並列して器質的脳神経疾患を診療していると世間に印象づけることが変更理由です。

最近気になることは、薬の副作用による意識障害、精神症状、運動障害の患者さんが増えていることです。これは防げるものなので、処方される先生方と協力して解決していきたいと考えております。新しい年も地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

新年の抱負と当院脳神経外科の紹介

村井 尚之 副院長

昨年は、もやもや病と正常圧水頭症とを中心に順調に手術件数が伸びて参りましたが、当院の実力はまだまだ十分に発揮できていないと思います。当院は、疾患によっては大学病院以上の実力があります。もやもや病や正常圧水頭症の患者さんはもっといはずですし、髄膜腫、下垂体、動脈瘤、頸動脈狭窄などもっと当院で良い手術が多数できます。今後はホームページなどでのPR・啓蒙活動をより促進し、地域連携にももっと努力をしていきたいと思ひます。

地域の中核としてさらなる信頼を得るには、365日24時間の神経疾患当直体制が今後望まれます。そのためには、地道に手術件数を増やし、スタッフの数を増やしていくことが必要です。多少お時間をいただくことになると思いますが、必ず実現したいと思ひますので、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたしします。頭痛、ふらつき、歩行障害、物忘れなどなど、かかりつけの医師と相談の上、ご遠慮なく、当科にご相談ください。

運動時の息切れにご注意！

田邊 信宏 副院長

皆様、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科および肺高血圧症センターは、9名の医師で、肺がん、たばこが原因で肺の生活習慣病といわれる慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息、肺炎、肺線維症、肺高血圧症等、あらゆる呼吸器の病気をもち患者さんの診療にあたっています。

肺がん、COPD、肺炎は、すべて日本人死因の10位以内に入っている病気で、今後さらに、増加することが予測されています。肺がん、COPDは初期には症状に乏しい病気です。長く続く咳、痰、坂道を登る時の息切れが気になる方は、早めの受診をおすすめします。

肺高血圧症は、肺血管が固くなることや、血栓で詰まって起こる病気で、以前は治療法がなかったことから国の難病に指定されています。最近では早期に診断されれば、お薬や手術等で著明に良くなる方も多数います。原因不明といわれるような坂道を登る時や運動時の息切れがある方は、かかりつけの医師と相談の上、当院肺高血圧症外来にご相談ください。

済生会フェアのご報告

毎年恒例の済生会フェアを11月23日に開催し、約1,000人が来場しました。

当日は雨天により屋外イベントが中止となりました。しかし、小林智病院長の開会の挨拶に続いて行われた習志野市立第五中学校吹奏楽部によるオープニングコンサートにて華やかにスタートしました。



骨密度測定や血流測定は順番待ちの行列ができるほどの大人気で、X線撮影装置や手術室に入ることができる「院内ツアー」や医師や看護師のコスチュームを着てスタッフと一緒に病院の仕事を体験できるコーナーもありました。

講演会では多彩なテーマを企画し、上司郁男副院長(脳神経内科)を中心とした脳卒中チームによる講演では、途中、宮本泰介習志野市長も参加、聴講者に向けて挨拶をしました。

当院は災害拠点病院に指定されていることから仲村孝一看護師長(DMAT隊員)が災害に対する備えを、自衛隊千葉地方協力本部の市村英一渉外・広報室専門官が、自衛隊の災害派遣活動について説明しました。



バスケットボール「Bリーグ」千葉ジェッツの島田慎二会長が、短期間でチームをトップクラスに引き上げた秘けつを語りました。

今年は千葉テレビで放送されている「チュバチュバワンダーランド」の人気キャラクターが登場。多くの親子連れが来場しました。キャラクターと一緒に踊る場面では、振り付けを完全にコピーしているお子さんもいらっしゃいました。



最後を飾るフィナーレコンサートもオープニング同様、習志野市立第五中学校吹奏楽部が演奏を披露。チュバチュバワンダーランドのキャラクターとコラボし大盛況でした。



最後にフェア実行委員長である佐藤孝診療部長の閉会の挨拶、職員、チュバチュバワンダーランドのキャラクターとともに来場者をお見送りしました。

(済生会フェア実行員会 中央病歴管理室係長 入月 勉)



台風15号に伴う災害派遣医療チーム（DMAT）の活動報告

日本DMAT隊員看護師 苦米地 聖志

千葉県沿岸部を中心に強風による大被害をもたらした台風15号。その被災地支援のため、9月9日、千葉県から当院にDMAT派遣要請があり医師1名、看護師2名、薬剤師1名が派遣先の君津中央病院に向けて出発しました。

停電・断水により病院が孤立したA病院（116床）の入院患者さん100人を、災害拠点病院の君津中央病院へ搬送するのが任務です。高温・多湿・真っ暗闇で電話もインターネットも満足に通じないA病院での支援活動は困難を極めました。

翌10日早朝もDMAT隊を再編成。前日に君津中央病院へ搬送した100人を被害のない千葉県内および近隣県の病院へ分散搬送しました。

今回の派遣は当院が災害拠点病院になって初めての活動でした。DMAT派遣活動を通じて、派遣要請時のチーム体制や救急車内の物品配置、派遣場所での迅速な活動など課題が浮き彫りになりました。急な派遣にも対応できるように実践的な体制整備の必要性を痛感させられました。地域における災害拠点病院および済生会人として地域住民の心に寄り添い微力ながらも貢献できるよう努力していきたいと考えています。

台風15号では甚大な被害を千葉県全域へもたらし、激甚災害へ指定されました。一日でも早い復興を切実に願うばかりです。



糖尿病講座のご案内

当院では、奇数月に糖尿病講座を開催しています。参加費は無料ですので、是非ご参加ください。なお、人数に制限がありますので、準備の都合上、必ず事前に予約をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせは、内科外来まで

1月の講座(第5回)

日時	1月24日(金) 14:00~16:00
場所	当院8階講堂
テーマ	糖尿病と運動療法 薬物療法「その2」 日常生活の注意点

3月の講座(第6回)

日時	3月27日(金) 14:00~16:00
場所	当院8階講堂
テーマ	糖尿病とがん 質問コーナー



なお、日時・内容は変更する場合がございます。

お知らせ

「済生会だより ならしの」は病院ホームページからご覧になれます。



発行／社会福祉法人 恩賜財団 済生会 支部千葉県済生会 千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1

TEL 047-473-1281(代)

FAX 047-478-6601

ホームページ <http://www.chiba-saiseikai.com>